

平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月27日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

 コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	41,386	3.9	507	△15.2	524	△14.7	320	△1.2
28年5月期第3四半期	39,819	9.0	598	93.8	615	105.5	324	103.5

(注)包括利益 29年5月期第3四半期 503百万円 (70.5%) 28年5月期第3四半期 295百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	54.18	—
28年5月期第3四半期	54.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	16,928	2,849	16.8	481.27
28年5月期	17,577	2,417	13.8	408.26

(参考)自己資本 29年5月期第3四半期 2,849百万円 28年5月期 2,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	5.00	—	6.00	11.00
29年5月期	—	6.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,200	4.4	760	△6.9	780	△6.2	525	35.5	88.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	6,021,600 株	28年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	100,004 株	28年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	5,921,596 株	28年5月期3Q	5,921,596 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、米国の金融政策正常化の影響や中国をはじめとするアジア新興国等の先行き懸念など海外経済の不確実性の高まりに加え、為替・株価動向など不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費の上昇などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は413億86百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益につきましては、アマカ店舗のLED照明導入に伴い一般管理費が増加したこと等により5億7百万円（前年同期比15.2%減）、経常利益は5億24百万円（前年同期比14.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億20百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組む、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は266億34百万円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は2億3百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、前連結会計年度に開業した新規店舗や、ネットショップが寄与し、売上が伸びました。新規出店については、平成28年12月に岐阜真砂店（岐阜県岐阜市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は135億11百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業利益は10億84百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として43店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は13億16百万円（前年同期比6.5%減）となり、営業損失は69百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が5億69百万円、商品が2億88百万円減少したこと等により、流動資産は全体で8億23百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が1億9百万円減少したものの、投資有価証券が3億14百万円増加したこと等により、全体で1億74百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して6億49百万円減少し、169億28百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が5億91百万円減少したこと等により、流動負債が全体で7億円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が4億17百万円減少したこと等により、全体で3億81百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して10億81百万円減少し、140億78百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が2億49百万円増加したこと等により、4億32百万円増加し、28億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月22日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	265,638	395,510
受取手形及び売掛金	5,131,978	4,562,827
有価証券	—	30,177
商品	3,558,744	3,269,882
貯蔵品	14,859	17,065
繰延税金資産	99,748	52,339
その他	793,841	712,252
貸倒引当金	△7,508	△6,469
流動資産合計	9,857,302	9,033,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,593,508	3,484,311
その他（純額）	1,269,950	1,335,758
有形固定資産合計	4,863,458	4,820,070
無形固定資産	52,207	48,776
投資その他の資産		
投資有価証券	1,146,590	1,461,167
その他	2,132,557	2,038,235
貸倒引当金	△474,821	△473,720
投資その他の資産合計	2,804,325	3,025,683
固定資産合計	7,719,990	7,894,530
資産合計	17,577,293	16,928,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 5 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成29年 2 月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,446,649	4,855,489
短期借入金	1,559,000	1,855,000
1年内返済予定の長期借入金	2,045,252	1,894,714
未払法人税等	228,186	22,763
賞与引当金	187,529	97,100
ポイント引当金	17,358	15,249
その他	858,369	901,930
流動負債合計	10,342,344	9,642,248
固定負債		
長期借入金	3,586,374	3,168,572
役員退職慰労引当金	193,229	211,702
退職給付に係る負債	314,550	327,456
資産除去債務	274,271	285,980
その他	448,949	442,295
固定負債合計	4,817,374	4,436,007
負債合計	15,159,719	14,078,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,563,759	1,813,532
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,383,720	2,633,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,927	235,679
繰延ヘッジ損益	—	160
退職給付に係る調整累計額	△26,073	△19,473
その他の包括利益累計額合計	33,853	216,366
純資産合計	2,417,573	2,849,859
負債純資産合計	17,577,293	16,928,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 6 月 1 日 至 平成28年 2 月 29 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 6 月 1 日 至 平成29年 2 月 28 日)
売上高	39,819,353	41,386,701
売上原価	32,310,153	33,653,376
売上総利益	7,509,200	7,733,324
販売費及び一般管理費	6,910,267	7,225,613
営業利益	598,932	507,711
営業外収益		
受取利息	21,195	10,359
受取配当金	6,569	7,361
受取賃貸料	60,320	61,009
受取手数料	15,269	15,520
その他	21,164	18,417
営業外収益合計	124,519	112,669
営業外費用		
支払利息	46,040	25,365
賃貸費用	56,380	55,202
固定資産除売却損	2,152	8,905
その他	3,746	6,390
営業外費用合計	108,320	95,864
経常利益	615,130	524,516
特別利益		
投資有価証券売却益	1,749	—
会員権売却益	870	—
特別利益合計	2,619	—
特別損失		
減損損失	99,110	—
店舗閉鎖損失	10,508	—
特別損失合計	109,619	—
税金等調整前四半期純利益	508,130	524,516
法人税、住民税及び事業税	177,134	153,174
法人税等調整額	6,238	50,509
法人税等合計	183,372	203,684
四半期純利益	324,757	320,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,757	320,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 6 月 1 日 至 平成28年 2 月29日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 6 月 1 日 至 平成29年 2 月28日)
四半期純利益	324,757	320,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,034	175,751
繰延ヘッジ損益	△3,074	160
退職給付に係る調整額	4,580	6,600
その他の包括利益合計	△29,528	182,512
四半期包括利益	295,229	503,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,229	503,345
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年6月1日 至平成28年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	24,994,953	13,477,935	1,345,244	39,818,133	1,220	—	39,819,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	129	10,584	62,807	73,521	—	△73,521	—
計	24,995,082	13,488,520	1,408,052	39,891,655	1,220	△73,521	39,819,353
セグメント利益又は損失(△)	118,938	1,124,851	△16,386	1,227,402	△100	△628,369	598,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が平成28年2月より開始した太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△628,369千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	26,633,728	13,497,050	1,244,500	41,375,279	11,422	—	41,386,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,054	14,611	72,074	87,739	—	△87,739	—
計	26,634,782	13,511,662	1,316,574	41,463,018	11,422	△87,739	41,386,701
セグメント利益又は損失(△)	203,955	1,084,138	△69,598	1,218,494	△452	△710,330	507,711

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△710,330千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。